

もっと知って、乾癬のこと

乾癬（かんせん）は皮膚の炎症を伴い慢性の経過をたどる病気です。「かんせん」という名前から誤解されやすいのですが、他の人に感染する病気ではありません。皮膚症状は頭皮や髪の毛の生え際、ひじ、ひざなど比較的外から刺激を受けやすいところに現れます。

主な症状は、皮膚の盛り上がりや赤い発疹の上に、銀白色のフケのようなものがくっついてポロポロとはがれ落ちます。「乾癬性関節炎」では、手指の関節に腫れや変形、痛みなどの症状が出ることも。痛いところがある際は皮膚科の医師に伝えてください。主な治療として、塗り薬、紫外線照射、飲み薬、注射があります。塗り薬による治療が基本ですが、皮膚症状の面積が広いときや、塗り薬で十分な効果が得られないときは、紫外線照射や飲み薬を組み合わせます。

また、関節に合併症を起こしている場合は、変形しないように生物学的製剤を用いた注射による治療を積極的に行います。高価な薬剤ですが、高額療養費制度などが利用できます。症状は治療によって改善しますが、平行して、日常生活の見直しも大切です。高脂肪の食事を控え、飲酒や喫煙もなるべく避けた方が良いでしょう。

まずは皮膚科専門医を受診して、確実な診断と適切な治療を受けることが大切です。

令和3年6月

久米 昭廣